

# 入門 飯田・下伊那の満洲移民

## 主な飯田・下伊那出身開拓団の入植地



今から 80 年ほど前。中国東北部に満洲国と呼ばれる国が作られ、日本はこの地にたくさんの農民を送り込みました。満洲移民と呼びます。27 万人。なかでも、飯田・下伊那は全国でもっとも多く移民 (8000 人余) を送り出しました。彼らの多くは、ソ連参戦以降の逃避行の中で命を落とし、ふるさとに戻ることができた人は半分もいません。女性や子供の帰還率の低さが特徴です。

社会的弱者が、さらに犠牲となる構造は、今日の日本にもつながります。今回の講座では、当地の満洲移民の実態を、移民名簿を手がかりに、地図・グラフを活用しながらわかりやすく紹介します。

**開催** 令和 3 年 4 月 18 日 (日)  
**日時** 13:30~15:00

**会場**：飯田市美術博物館 講堂  
**講師**：青木 隆幸 (本館専門研究員)  
**聴講**：無料 事前申し込み  
(4月4日より電話受付)

**先着**：50 名  
申し込み前に当館ホームページで最新の情報をご確認ください



開拓団の生活の一コマ (上久堅村開拓団)  
飯田市歴史研究所所蔵

## ご来館のお客様へのお願い

当館では新型コロナウイルス感染対策の為、以下の対応をさせて頂いております。ご来館のお客様にはご協力をお願いいたします。

- ・発熱や咳などの症状がある方は入館をご遠慮ください。
- ・必ずマスクを着用してください。(未着用の方は入館をお断りさせていただきます)
- ・少人数での入館をお願い致します。また、観覧時は会話をお控えいただき、他のお客様との距離を確保してください。
- ・展示室内は10名、日夏耿之介記念館・柳田國男館は5名を目安にご覧ください。館内が過密になった場合は入場制限させていただきます。
- ・壁や展示ケースに手を触れないでください。
- ・チケットのご購入等は床のマークを目安に距離を保ち、複数でご来館の場合は代表者1名がお並びいただくようお願いいたします。
- ・手洗い、消毒をお願いいたします。